



松ヶ崎小学校コミュニティ・ニュース7

・・・ゲストティーチャーを迎えて・・・

平成26年1月8日
松ヶ崎小学校学校運営協議会
広報委員会

新しい年を迎えました。昨年度は、学校運営協議会の皆様をはじめ、いろいろな方々にお世話になり、子どもたちは、大変貴重な体験をさせていただきました。子どもたちの学習に、ゲストティーチャーとして入っていただいたり、12月6日(金)に行いました「研究発表会」にもご参加いただき、お話をさせていただいたり・・・重ねてお礼申し上げます。そして、今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

★「松ヶ崎の未来について考えよう」6年生・・・・・・・・・・

6年生は、総合的な学習の時間に、岩崎皓さんをお迎えし、昔の山の様子・川の様子・家の様子についてお話を伺いました。



昔、山には松の木があり、まつたけもどっさりにとれたそうです。生活に使われていた山の落ち葉が、使われなくなったため、山に栄養が行き渡りすぎて、今はとれなくなったとか。

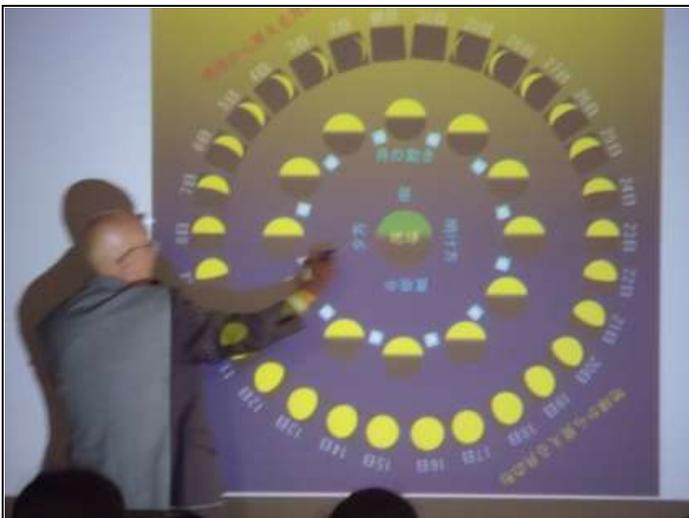
松ヶ崎の未来について考えたいくなるような、そんなお話をたくさん聞かせていただきました。

子どもたちが3年生の時に岩崎皓さんからお話を伺ったことがあり、子どもたちは、その時のことをよく覚えていました。

伺ったお話をもとに、自分たちがこれからしていきたいことを考え、12月6日(金)の研究発表会で提案しました。

研究発表会当日も、岩崎皓さんにお越しいたいただき、子どもたちが考えた提案を聞いていただきました。

★「宇宙の話」4年生・・・・・・・・・・



11月5日(火)岩崎恭輔さんにお越しいたいただき「宇宙の話」と題して、月や星の話をしていただきました。たくさんのパワーポイントやムービーを作っていたいただき、子どもたちは、とても興味をもってお話を聞くことができました。

『ぼくは、この話を聞いて、月には、どうして穴が空いているのかわかりました。月はいん石で穴(クレーター)ができると知りました。ぼくは、月が一年に3.8cmの割合で、地球から遠ざかっていて、このままだと、金かんだ日食がみられないとおっしゃっていたので、ぼくは、もっとみたいなあと思いました。今回は、月のことを教えていただいてありがとうございました。』(子どもの感想より)

★「小学生のための現代美術教室」 3年生・・・・・・・・・・



11月8日(金)、現代美術作家の岩澤有徑さんをお迎えました。

ご自身のアートや、アンリ・マチス、森村泰昌などのアートを例に「新しい絵画」についてお話いただきました。また、名画家の本物の作品を持って来ていただき、ルーペを使って作品の細かい部分を、子どもたちに見せていただきました。中には、宮崎駿のセル画もあり、子どもたちも感激していました。最後は、子どもたちにサインをしていただき、子どもたちは、大満足でした。

松ヶ崎小学校の本館玄関をいってすぐ右にある大きな絵画は、岩澤有徑さんが寄贈してくださったものです。

さらに、本館1階廊下に飾ってある3点の絵画は、

文化功労者であり、日本画家であったお父様の重夫さんの絵画です。重夫さんの「小学生の子どもたちに文化を身近に感じてほしい」というご遺言により、有徑さんが学校に寄贈してくださったものです。

★「わたしたちのたからもの『松ヶ崎の山』」 3年生・・・・・・・・・・



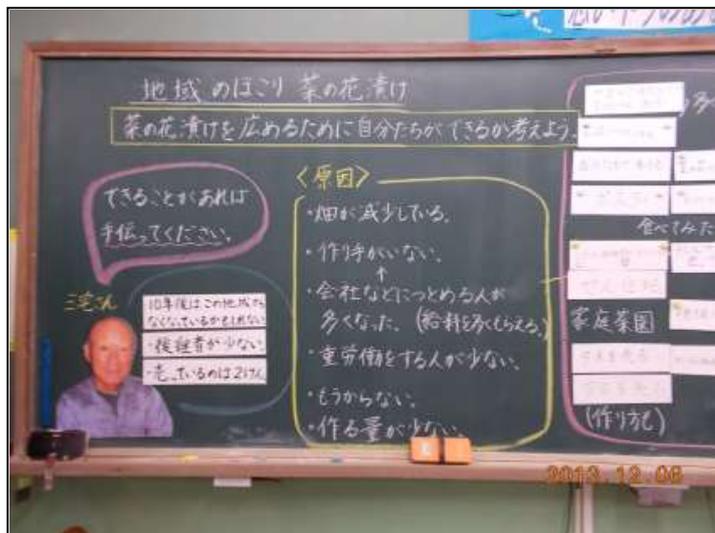
12月6日(金)、3年2組では、岩崎猛彦さんをお迎えました。子どもたちが調べた「山と自然とのつながり」を聞いていただき、その後、お話をしていただきました。

一見自然豊かに見える松ヶ崎の山は、自然のバランスが崩れ、様子が変わってきているとのこと。

このお話を聞いた子どもたちは、「松ヶ崎の山の目に見えない自然のつながりを、もっと探りたい。」「僕たちの手で元の山にもどしたい。」「僕たちが山を守っていきたい。」と真剣に答えていました。

11月29日(金)には、3年1組に入っていたいただき、同じ内容のお話をさせていただいています。

★「地域のほこり 菜の花漬け」 5年生・・・・・・・・・・



5年生では、菜の花漬けについて、三宅秀典さんにお世話になっています。

研究発表会当日、子どもたちは、菜の花漬けを広めるために、何ができるかを考えました。そして、その考えを三宅秀典さんに電話で聞いていただきました。

「よく考えてくれましたね。できることがあれば、是非手伝ってくれますか。」

と、秀典さんに言っていただきました。

子どもたちは、自分たちの手で、できることをしたいと計画しているところです。

※これらの記事は、松ヶ崎小学校ホームページに掲載しています。どうぞご覧ください。